

めだか②

名前(

)

♪「めだか」を読んで、だんらんくを教科書に書きこもう。

ヒント：ぜんぶで⑬だんらんくあるよー。

♪春になるとめだかはどこにすかたをあわすでしょう。

♪めだかは、どのような大ききの魚でしょうか。↓()

♪体長は、大人になっても()センチメートルにしかならない。

♪めだかは、のんびり楽しそうに泳いでいるようですが、たくさん「てき」にならわれています。教科書に書かれている「てき」を書きましよう。ヒント：たくさんあげられています。

♪どの文をさがしましょう。

・どの文が書かれているだんらんくはなんだんらんく目でしょう。↓()だんらんく目

・どの文を書きましよう。

めだか③

名前()

めだかはどのようにして身を守っているのでしょうか。ヒント：四つあります。

☆だんらんくの「要点」(ようてん)をさがそう。

だんらんくの中に入る言葉や文を、「要点」(そのだんらんくの大事ななごう)と言います。

〇てきから身を守るほうほう

第一	中に入る文	
	せつめいする文 (理由)	
第二	中に入る文	
	せつめいする文 (理由)	
第三	中に入る文	
	せつめいする文 (理由)	
第四	中に入る文	
	せつめいする文 (理由)	

俳句（はく）に親しむ① 名前（ ）

声に出して読み、言葉のリズムを楽しみましょう。

俳句のとくちようとは何でしょう。教科書を読んで答えましょう。

5

せみのこえ

7

あそぐあそぐと

5

せいのるり

あそびあそびあそび

- 音数…（ ）（ ）（ ）の十七音で作られている。
- きせつを表す言葉（ ）が入っている。☆きせつをかんじるのを大切にしているんだね。
- 右の俳句の季語は何でしょう。（ ）
- 右の俳句の季せつはいつでしょう。（ ）

春・夏の俳句を読んでみましょう。季語は何かな。言葉に○をつけよう。
(読み方が分からないものは教科書を見てかくにんしましょう。)

俳 句 (春・夏)	一回読んだら○ をつけよう。	すらすら読めた ら○をつけよう。	おぼえたら花丸 をつけよう。
雪とけて 村いっぱいの 子どもかな 小林 一茶			
菜の花や 月は東に 日は西に 与謝蕪村			
はねわって てんとう虫の とびいする 高野素十			
ちしなめて 童たのしも 夏氷 山口 誓子			

めだか②

名前()

・「めだか」を読んで、だんらくの番号を教科書に書きこもう。

ヒント：ぜんぶで⑬だんらくあるよー

・春になるとめだかはどこにすがたをあらわすでしょう。

小川や池の水面近く。

・めだかは、どのような大きさの魚でしょう。(小きな魚)

・体長は、大人になっても(三、四)センチメートルにしかならない。

・めだかは、のんびり楽しそうに泳いでいるようですが、たくさん「てき」にねらわれています。教科書に書かれている「てき」を書きましょう。ヒント：六しゆるいあげられています。

だかめ	げんじろう	やー
みずかきり	大きな魚	ゼリかに

・どの文をさがしましょう。

・どの文が書かれているだんらくはなんだんらく目でしょう。(④)だんらく目

・どの文を書きましょう。

めだかは、そのようなてきから、どのようにして身を守っているのでしょうか。

めだか③

名前()

めだかはどのようにして身を守っているでしょう。ヒント：四つあります。

☆だんらくの「要点」(ようてん)をつかもう。

だんらくの中点となる言葉や文を、「要点」(そのだんらくの大事ななところ)と言います。

〇てきから身を守るほうほう

第一	中点になる文	めだかは、小川や池の水面近くでくらして身を守る。
	せつめいする文 (理ゆつ)	水面近くには、ヤシや水やオキリなどの、てきがありませんから。
第二	中点になる文	めだかは、すばやく泳いで身を守る。
	せつめいする文 (理ゆつ)	近づいてきたてきから、やいせにけることができるから。
第三	中点になる文	めだかは、小川や池のそりにもぐって、水をいっせ身を守る。
	せつめいする文 (理ゆつ)	近づいてきたてきに見つからないように、かくれることが出来るから。
第四	中点になる文	めだかは、何+びきも集まって泳ぐことによって身を守る。
	せつめいする文 (理ゆつ)	てきを見つけためだかが、きけんを告げることをなか間(なかにま)に知らせる。みんなはいっせにからばりてきが目うつりしている間に、いけることが出来るから。

俳句(はいく)に親しむ① 名前()

声に出して読み、言葉のリズムを楽しみましょう。

俳句のとくちようとは何でしょう？教科書を読んで答えましょう。

5

7

5

せみのこえ あそぐあそぐと せにえるひ せみせみせみ

○音数…(五)(七)(五) の十七音で作られている。

○きせつを表す言葉(季語)が入っている。☆きせつをかんじることを大切にしているんだね。

○右の俳句の季語は何でしょう。(せみ)

○右の俳句の季せつはいつでしょう。(夏)

春・夏の俳句を読んでみましょう。季語は何か？言葉に○をつけよう。

(読み方が分からないものは教科書を見てかくにんしましょう。)

俳句(春・夏)	一回読んで○をつけよう	すらすら読めた○をつけよう	おぼえたら花丸をつけよう
雪とけて 村いづばいの 子どもかな 小林一茶			
菜の花や 月は東に 日は西に 与謝蕪村			
はねわって てんとう虫の とびいする 高野素十			
やしなめて 童たのしも 夏永 山口誓子			

3

「はなびとへーと」を作ろう
11/11 辞典の引き方

□ 32~37

なまえ

組

番

期

1 せんりき

❖ 漢字に書かれています。(~~~~~のりふせせ、おんごをたしなまをひたすおんご。)

① なにかをはなびにする。

② けいをはなびにする。

③ くわくくわくする。

④ ひろくをはなびにする。

⑤ にほくとくをたしなま。

⑥ はなびのりふせせ。

⑦ ひろくをはなびにする。

⑧ ひろくをたしなま。

⑨ はなびのりふせせ。

⑩ ひろくをはなびにする。

★ 組めせ、16 4コマ① のたつね。

[illegible]

